



# 蒲生公民館図書室 8月の展示紹介



## 「スポーツ小説」

夏の甲子園が開幕。手に汗握る世界を描いたスポーツ小説を特集。



「どんまい」 重松清 著

「タスキメシ」 額賀澤 著

離婚後のリスタートで、娘の香織を連れて草野球を始めたアラフォーの洋子。野球愛と人生へのエネルギーに満ちた小説。



箱根駅伝を夢見て、長距離走に青春を捧げる青年たち。それぞれの思いと生き様が熱く描かれる、爽快感と希望に溢れる物語。



## 「平和を考える本」

8/15 は終戦の日。平和について考える本を特集。



「やんばるの少年」 たじまゆきひこ 作

自然が豊かな沖縄県やんばるの森。静かで安全な暮らしを奪われる不条理さを描いた力作。

「字のないはがき」 向田邦子 原作

戦時下の一家のちいさな妹と、いつも怖いお父さんのエピソードを綴った感動の実話。

Pick up! /

## 「夏休みお助け本」

まだまだ夏休み。自由研究や作文などに役立つ本を特集。

Pick up! /

「もっとすごすぎる天気の本」 荒木健太郎 著

おもしろくてためになる天気まつわる知識を、図解やイラスト、写真を使って詳しく紹介する一冊。

「みんなのためいき図鑑」 村上しいこ 作

家族や友達との関係にゆれる子どもの気持ちを、鮮やかに描いた物語。(読書感想文コンクール 課題図書)

